

那須烏山市教育振興ビジョン ○那須烏山市の重点 ◇本校の今年度の努力点 ※本校の具体策

評価【A(5・4):十分達成できた B(3):概ね達成できた C(2・1):課題がある】

項目	重点目標・具体策	キーワード	取組状況 成果(○)・課題(●)	評価	改善策	学校運営協議会委員 (評価者)の意見等
学校運営	教育課程	カリキュラム マネジメント PDCAサイクル 社会に開かれた教育課程 教科等横断的な視点	○地域の方を講師やボランティアとして招いて活動する等、各学年で地域とのつながりを感じる活動を行うことができた。 (生活科、社会科、理科、総合的な学習の時間、ふれあい活動等) ○総合的な学習の時間に「山あげ祭」に関する単元を作成し、来年度から実施する計画を整えた。	A	・関係団体や市の学芸員の協力を得ることで、充実した内容になるように準備を進めていく。	・総合的な学習の時間の取組については、地域の発展のため、充実した活動になるようにしてほしい。
	組織運営	サービスの徹底 適材適所 研修の充実 働き方改革	○定時退勤日を設定することで、時間を意識して業務に取り組む意識が高まった。 ●専門性が必要とされる部活動の指導は、特定の教員の負担になりがちである。	A	・外部人材の協力を得られるよう、引き続き検討していく。	・部活動の指導については、地域の方に協力していただけるよう、委員からも呼びかけを行いたい。
	環境整備	施設利用 安全点検 教室配置	○特別教室や倉庫など、きちんと整理整頓がされており、使いやすくなっている。 ○班長を中心に積極的に清掃に取り組むことができる児童が多い。 ●図画工作科等で使用した後など、乱雑になっている学習室がある。安全面も考慮し、整理整頓に心がける必要がある。	B	・各学年の学習室は、少人数指導の際の教室としても使用するので、学年で随時整理整頓を行う。	・児童が安全に活動できるよう、引き続き整理整頓や環境整備に努めてほしい。

那須烏山市教育振興ビジョン ○那須烏山市の重点 ◇本校の今年度の努力点 ※本校の具体策
評価【A(5・4):十分達成できた B(3):概ね達成できた C(2・1):課題がある】

項目	重点目標・具体策	キーワード	取組状況 成果(○)・課題(●)	評価	改善策	学校運営協議会委員 (評価者)の意見等
学校運営 地域連携	<p>○地域連携教員を要として、地域とともにある学校づくりに努める。 ◇地域の人とのつながりを広げ、ふるさとを学ぶ活動の推進 ※ABC/R運動の推進 ※地域とともに見守る登下校時の交通安全指導の徹底 ※コミュニティ・スクールにおける地域との連携の充実 ※地域の方と協働し、ふるさとを学ぶ時間の工夫</p>	<p>地域とともにある学校 コミュニティ・スクール 地域コーディネーター</p>	<p>○地域の方と連携した活動を行うことで、つながりを深めることができた。 ○学校運営協議会に代表児童が参加することで、地域の方とのつながりや有用感を感じることができた。 ●登校の見守りはたくさんの方がしてくださっているが、下校時の見守りは協力をいただくことが難しい。</p>	A	<p>・地域連携教員がコーディネーターと連携し、学習効果と教員の負担軽減の観点から、外部人材の活用を推進していく。 ・下校時の見守りへの協力を引き続き呼びかけていく。(地区懇談会等)</p>	<p>・「こども110番」の家の方に、下校時刻に合わせて外で見守っていただくようお願いしてはどうか。</p>
知の教育 学習指導・各教科等	<p>○学ぶ意欲を引き出し、主体的に学ぶ児童生徒の育成に努める。 ◇表現力(コミュニケーション力)を高めるための授業改善の推進 ◇学ぶ意欲を持ち続ける児童の育成 ※「話す」「書く」活動の充実を目指した授業の推進 ※個に応じた表現をする機会の確保 ※自主的な学習を促す自学自習の推進</p>	<p>主体的・対話的・深い学び</p>	<p>○学習指導主任を中心に、児童の表現力を高めるための指導法などを模索することができた。 ○学力向上推進プランに基づき、児童同士の交流の時間をもつこと意識して授業を行うようにした。だれとでも意見を交換したり、教え合ったりする様子が見られるようになった。 ●自主学習への取組は、個人差が見られる。</p>	A	<p>・来年度も学校課題に合わせて、研修の持ち方を工夫して取り組む。 ・自主学習の取組例を紹介するとともに、宿題の量と出し方を検討する。</p>	<p>・授業参観では、児童同士がディスカッションする場面が見られ、素晴らしいと思った。</p>
情報教育	<p>○一人一台の情報端末の有効活用を努める。 ◇表現力(コミュニケーション力)を高めるための授業改善の推進 ◇学ぶ意欲を持ち続ける児童の育成 ※個に応じた表現をする機会の確保 ※自主的な学習を促す自学自習の推進</p>	<p>プログラミング教育 情報活用能力 教員のICT活用指導力の向上</p>	<p>○「まなびPC」を、調べ学習や学習のまとめに効果的に活用することができた。 ●「スマイルドリル」や「コグトレ」の活用に学級差・個人差がみられた。</p>	B	<p>・「まなびPC」の活用法や、「スマイルドリル」等の活用について、学年で共通理解を図って進める。</p>	<p>・「まなびPC」を使って調べたりまとめたことを発表したりするなど、児童のスキルが向上していると感じている。引き続き活用を図ってほしい。</p>

那須烏山市教育振興ビジョン ○那須烏山市の重点 ◇本校の今年度の努力点 ※本校の具体策
評価【A(5・4):十分達成できた B(3):概ね達成できた C(2・1):課題がある】

項目	重点目標・具体策	キーワード	取組状況 成果(○)・課題(●)	評価	改善策	学校運営協議会委員 (評価者)の意見等
知の教育 国際教育	<p>○英語に触れ、世界を学ぶことで、豊かなコミュニケーション能力の育成に努める。 ◇表現力(コミュニケーション力)を高めるための授業改善の推進 ※個に応じた表現をする機会の確保</p>	SDG's 異文化理解 英語コミュニケーション	<p>○英語専科教員とALTによる授業を楽しみにし、児童が英語で積極的に会話をしようとしている。</p> <p>○低学年から英語に触れている子ことで、苦手意識がなく取り組める児童が多い。</p> <p>●英語に苦手意識があるなど、個別の支援を必要とする児童もいる。</p>	B	・英語の活動が充実するよう、学級担任が必要に応じて児童の実態を英語専科教員に伝えるなど支援する。	・英語が話せる外国籍児童と英語で交流する活動を行うとよいのではないかな。
心の教育 児童・生徒指導	<p>○自己指導能力の育成を図り、課題を解決できる児童生徒の育成に努める。 ◇互いを尊重し合い居がいのある楽しい仲間づくり ◇将来を考え、夢に向かって努力する態度を育成するキャリア教育の推進 ※遊びを通じ、心を磨き合う仲間づくり ※仲間とのつながりを大切にした学年・学級経営の充実 ※目標をもって生活し、自己肯定感を高める指導の充実</p>	いじめ 不登校 自己指導能力 キャリア教育	<p>○問題が起こった時に、担任だけで抱え込むことなく、児童指導主任を中心に組織的な対応をすることができた。</p> <p>○遊びを通して、友達と仲よく過ごせる児童が多かった。</p> <p>○総合的な学習の時間を柱として、児童が将来の夢や目標について考えることができる取り組みや声かけを行ってきた。</p> <p>●「よい子の約束」(児童用生活のきまり)の内容を検討する必要がある。</p>	A	・児童の意見を代表委員会で話し合い、それを参考に見直しを行う。	・生活のきまりについて、児童から自発的に意見が出たことは素晴らしい。保護者の理解・協力が得られるように対応してほしい。
特別支援教育	<p>○共生社会に向け、自分の意見を持ち、他者の意見を認め合う雰囲気づくりに努める。 ◇インクルーシブ教育の実現に努める特別支援教育の充実 ※多様な他者への理解を深める交流活動の推進</p>	インクルーシブ ユニバーサルデザイン 合理的配慮 自立活動	<p>○支援学級と通常学級の担任同士で情報交換をし、児童が安心して交流学习に参加できるよう配慮している。</p> <p>○日本語が分からない外国籍児童やけがで不自由をしている児童に対し、進んで親切に接する姿が見られた。</p>	A	・だれに対しても差別的な言動がないよう、人権教育の視点からも指導を継続する。(学級活動、週目標等)	・登下校でも、高学年の児童が低学年の児童を優しく面倒を見ながら歩く姿が見られる。だれに対しても思いやりをもって接することができるように指導を続けてほしい。

那須烏山市教育振興ビジョン ○那須烏山市の重点 ◇本校の今年度の努力点 ※本校の具体策
評価【A(5・4):十分達成できた B(3):概ね達成できた C(2・1):課題がある】

項目	重点目標・具体策	キーワード	取組状況 成果(○)・課題(●)	評価	改善策	学校運営協議会委員 (評価者)の意見等
健康教育	○自分の健康を管理し、健やかに生活する児童生徒の育成に努める。 ◇健康・運動への意欲を高める保健体育活動の推進 ※健康の保持を目指し、運動・体育科への意欲を高める指導の工夫 ※「豊かなスポーツライフ」を念頭に置いた授業の工夫	保健教育 保健管理	○視力低下の予防について、保健委員会で紹介したことで、意識するきっかけとなった。 ○あたごタイムや昼休みなど、積極的に外で遊んでいる児童が多い。 ○「持久走週間」や「なわとび週間」の時は、頑張りカードにより、児童がめあてをもって意欲的に活動に取り組めた。 ●一部、外遊びをせずに室内で過ごす児童も見られる。	A	・クラス遊びや縦割り班活動を行い、児童が外遊びをする機会を増やす。	・休み時間に一人で読書をするのを好む児童もいるが、クラス遊び等の際には友達と一緒に活動する楽しさを感じられるとよい。
	○危機意識を高め、安全な生活について判断・実践できる児童生徒の育成に努める。 ◇危機意識の高揚と危機回避行動の育成 ※危険予測・危機回避行動を学び、自ら考え、判断行動できる児童の育成 ※地域とともに見守る登下校時の交通安全指導の徹底	学校安全の徹底・充実 危機管理 生活・交通・災害安全	○今年度は、隔年実施の「引き渡し訓練」を実施し、災害や事件発生時の保護者への引き渡し方法を具体的に確認することができた。 ●廊下の歩行や教室内での過ごし方について課題がある。 ●登下校中に児童同士のトラブルが起こりがちである。	B	・室内での遊び方や廊下の歩行について指導する。 ・登校班会議で指導するとともに、教員による同行指導や巡視を行う。	・特に下校時は、交通事故や不審者等の心配がある。安全のための見守りをお願いしたい。
	○食への関心を高め、健康維持に励む児童生徒の育成に努める。	給食管理 アレルギー	○栄養教諭による「食に関する指導」を各学年で実施し、食に関する関心が高まった。 ○食物アレルギーをもつ児童については、保護者と面談を実施し、確実に対応できた。 ●給食に関する約束については、学級裁量となっている部分がある。	A	・給食指導の統一を図る。(グループ会食の実施等) ・来年度は、親子給食を実施する。	・親子給食で、子どもの給食時の様子が分かるのは、ありがたい。 ・食事の時の姿勢や箸の持ち方等のマナーも指導してほしい。